**オレンジネットワークとっとりリレー講演会（東部会場）」の実施について（報告）**

鳥取県立図書館が実施してきた音読教室は認知症予防に効果があると実証されている。その音読をさらに広め、医師、認知症当事者、「認知症の人と家族の会」代表者の講演会「オレンジネットワークとっとりリレー講演会」を県内３カ所で開催することによって、認知症の人や高齢者にやさしい地域づくりを推進する。その取り組みの第一走者は東部会場で、多くの関係機関の協力のもとに、医師と認知症当事者を講師に講演会を実施した。

**「オレンジネットワークとっとりリレー講演会（東部会場）」の開催結果**

【日時】平成３０年７月１日（日）　午後１時から3時まで

【会場】鳥取県立図書館　大研修室：講演会

小研修室：関連展示・サテライト会場（講演会の中継）

中庭ゾーン：オレンジカフェ

【対象】一般県民　高齢者施設関係者　図書館関係者

【内容】

1. **講演「認知症の最新情報」　講師：鳥取大学医学部　教授　浦上克哉 氏**

　　　　認知症の最新情報を項目立てて（予防の概念、予防によいこと、治療薬、早期支援のあり方、リンクワーカー制度、認知症の人への接し方等）、わかりやすくお話いただいた。音読をはじめ、短歌や俳句、川柳を作る等の創造的なことについての予防効果についても詳しく説明され、予防対策として勧奨していただいた。最新の認知症についての理解と認知症の方、認知症の家族への理解が深まる内容であった。

**（２）対談「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていこうよ」**

**講師：鳥取大学医学部　教授　浦上克哉 氏**

**一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ代表理事　藤田和子 氏**

お二人の対談を通じて、日本認知症本人ワーキンググループの活動、複数のパートナーの重要性、『本人にとってのよりよい暮らしガイド』（別添：当日配布資料）、「認知症の人が書いた本」の紹介、ＲＵＮ伴（ランとも：小研修室で展示）等を伝えられた。藤田さんは、認知症になっても不安になって自分を見失うことのないような地域社会の手立てやパートナーの重要性について体験をまじえ、今の感じておられる思いをお話しされた。参加者からは、「過去のことはこだわらないで未来に向かう、そういう気持ちの持ち方を私もしていきたいと思いました。自分自身を元気づけられた対談でした」といった感想が聞かれた。会場の方々に、「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていこうよ」についての熱い思いが届いた対談であった。

**（３）取組報告「音読教室から見る図書館における高齢者サービス」**

**報告者：鳥取市立図書館　館長　田村晴夫 氏**

鳥取市立図書館の音読教室の取り組み状況、認知症予防に効果的な実施方法、図書館におけるこれからの高齢者サービスについて報告された。「出会いたい！伝えたい！つながり合う　鳥取市立図書館」として生きがいを創出できる図書館、しっかりと生きることを応援する図書館のメッセージをお伝えいただいた。

* **オレンジ・カフェ**（正午から午後４時まで：県立図書館・とりぎん文化会館中庭ゾーン）

　　　　　　　　　**運営：オレンジカフェめぐむ**（認知症の人と家族の会鳥取県支部）

　　　　暑い中、９時過ぎから講演会終了後の４時まで１１名の方が交互にカフェを運営。認知症に関する相談、オレンジカフェの案内、当日の講演会の案内をしていただいた。講演会にも参加された。

約１６０名が利用された。

【参加人数】　講演会参加者：１８０名以上（オレンジカフェ等協力者を含む：２００名以上）

  